



福岡市
高齢者保健福祉計画
(平成21～23年度)

福岡市

は じ め に

わが国は、平均寿命の延伸と少子化の進行による若年人口の減少から、世界に例を見ない速さで高齢化が進展し、平成 19 年には高齢化率が初めて 21%を超え、5人に1人が高齢者という、「本格的な高齢社会」となっています。

一方、本市の高齢化率は全国平均と比べると低いものの、今後急速に高齢化が進むものと推計されており、今後到来する「本格的な高齢社会」に向けた準備を着実に進めていく必要があります。

本市では、平成 17 年 3 月に「福岡市保健福祉総合計画」の分野別計画として「高齢者プラン（老人福祉計画を含む。）」を、平成 18 年 3 月に「第 3 期福岡市介護保険事業計画」をそれぞれ策定し、両計画に基づいて高齢者保健福祉施策の総合的な推進に努めて参りました。そのような中、平成 19 年度に実施した調査によりますと、自身や家族の健康状態を心配されている方が多く、また自宅などで援護を必要とする方への施策の充実が求められています。

この度、平成 21 年度から 23 年度までの 3 年間において、本市の持続可能な高齢者保健福祉施策の総合的な推進と介護保険制度の円滑な実施を図るため、老人福祉計画と第 4 期介護保険事業計画を「福岡市高齢者保健福祉計画」として一体的に策定いたしました。

本市といたしましては、「高齢者一人ひとりが、生きがいを持ち尊厳を保ちながら住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けることができる地域社会の形成」を基本理念として、地域社会を共に構成している様々な主体と共働しながら本計画を着実に推進して参ります。市民の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、幅広い見地から熱心なご審議をいただいた「福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会」の委員の皆様、多数の貴重なご意見やご提言を寄せていただきました市民、関係団体、市議会の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 21 年 3 月

福岡市長 吉 田 宏

第1章 計画の策定にあたって

| | |
|------------|---|
| 1. 計画策定の趣旨 | 2 |
| 2. 計画の位置づけ | 2 |
| 3. 計画期間 | 4 |
| 4. 計画策定体制 | 4 |

第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

| | |
|------------------|----|
| 1. 高齢化の進展 | 6 |
| 2. 高齢者実態調査に基づく現状 | 9 |
| 3. 高齢者を取り巻く課題 | 18 |

第3章 基本理念と取り組みの視点

| | |
|----------------|----|
| 1. 基本理念 | 20 |
| 2. 取り組みの視点 | 20 |
| 3. 高齢者保健福祉施策体系 | 21 |

第4章 高齢者保健福祉施策の総合的な推進

| | |
|---------------------------|----|
| 1. 健康でいきいきとした豊かなシニアライフの実現 | 24 |
| (1) 社会参加活動への支援 | 24 |
| (2) 社会参加活動の環境整備 | 27 |
| (3) 就業機会の確保 | 29 |
| (4) 健康づくりの推進 | 30 |
| (5) 介護予防の推進 | 32 |
| 2. 要介護高齢者の総合支援の充実 | 36 |
| (1) 在宅生活支援の充実 | 36 |
| (2) 施設・居住系サービスの充実 | 42 |
| (3) 介護サービスの質の確保・向上 | 44 |
| (4) 認知症高齢者支援体制の充実 | 47 |
| (5) 権利擁護の推進 | 50 |
| 3. 地域生活支援体制の充実 | 52 |
| (1) 総合相談機能の充実 | 52 |
| (2) 地域ネットワーク体制の構築 | 53 |
| 4. 安全・安心な生活環境の向上 | 56 |
| (1) 高齢者居住支援 | 56 |
| (2) 人に優しいまちづくりの推進 | 58 |

第5章 サービスの量の見込みと確保方策

| | |
|------------------------|----|
| 1. 老人福祉事業 | 60 |
| (1) 主な老人福祉事業の目標量 | 60 |
| (2) 主な老人福祉事業の目標量の考え方 | 60 |
| 2. 要介護認定者等の現状と推計 | 61 |
| (1) 要介護認定者の現状 | 61 |
| (2) 介護予防の現状と推計 | 61 |
| (3) 要介護認定者数の推計 | 62 |
| 3. 介護サービス | 64 |
| (1) 介護保険事業計画の進捗状況 | 64 |
| (2) 介護サービスの量の見込み | 66 |
| (3) 日常生活圏域 | 70 |
| (4) 介護サービス見込量の確保のための方策 | 74 |
| 4. 地域支援事業 | 77 |
| (1) 介護予防事業 | 78 |
| (2) 包括的支援事業 | 79 |
| (3) 任意事業 | 80 |
| (4) 地域支援事業の量の見込み | 81 |
| (5) 地域支援事業の量の考え方 | 82 |
| (6) 見込量確保のための方策 | 83 |
| 5. 市町村特別給付等 | 83 |
| 6. 介護保険事業の円滑な推進のための方策 | 84 |
| (1) 健全で効率的な事業運営 | 84 |
| (2) 公正な要介護認定の取り組み | 84 |
| (3) 市民への積極的な情報提供 | 85 |
| (4) 介護サービスの質の向上 | 85 |
| (5) 利用者保護の充実 | 89 |
| (6) 市民参加が支える介護保険事業 | 89 |

第6章 介護保険事業に係る費用の見込みと第1号保険料

| | |
|--|----|
| 1. 第4期介護保険事業計画における事業費 | 92 |
| (1) 保険給付費等の見込み方 | 92 |
| (2) 第4期計画期間（平成21～23年度）における保険給付費等の 見込み（利用者負担を除いた額） | 93 |
| (3) 保険給付費等の負担割合 | 93 |
| 2. 第1号被保険者保険料の算出方法 | 95 |
| (1) 所得段階別被保険者数 | 95 |
| (2) 第1号保険料の低所得者への配慮 | 95 |
| (3) 第1号被保険者保険料の算出方法 | 96 |

参 考 資 料

| | | |
|-----------------------------------|-------|-----|
| 1. 福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会における審議経過 | ・ | 98 |
| (1) 福岡市保健福祉審議会高齢者保健福祉専門分科会委員名簿 | ・・ | 98 |
| (2) 高齢者保健福祉専門分科会における計画策定に係る審議経過 | ・ | 99 |
| 2. 計画策定関連調査 | | 100 |
| (1) 高齢者実態調査 | | 100 |
| (2) 介護サービス供給量調査 | | 101 |
| 3. 市民意見の募集 | | 102 |
| 4. 用語解説 | | 104 |